比企市町村推進協議会企画

比企の歴史まるわかり！
9市町村広報リレー

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」

吉見町版

大河ドラマ「鎌倉殿の１３人」比企市町村推進協議会広報リレー企画、２月は吉見町です。放映中の「鎌倉殿の13人」に登場する源範頼についてと源範頼ゆかりの史跡をご紹介します。

源範頼（みなもとののりより）

源範頼は幼少期に吉見町の岩殿山（息障院・安楽寺）に身を隠していたと伝わります。兄は鎌倉幕府の創始者である源頼朝、弟は牛若丸としても有名な源義経です。源平の合戦では兄の頼朝に代わって大将軍となり各地を転戦しました。範頼は遠江国蒲御厨（とおとうみのくにかばのみくりや：現在の静岡県浜松市）で生まれたことから蒲冠者（かばのかんじゃ）とも呼ばれています。

安楽寺（あんらくじ）

岩殿山安楽寺は坂東１１番の札所で、古くから吉見観音の名で親しまれてきました。安楽寺の東約１ｋｍには「伝範頼館跡」と呼ばれる息障院がありますが、この息障院と安楽寺は、かつては一つの大寺院を形成していたことが知られています。当時、息障院には多くの御堂がありましたが、その一つの観音堂が現在の安楽寺になったと伝わります。

息障院（そくしょういん）
－埼玉県指定　伝範頼館跡－

吉見町大字御所地内の息障院一帯が、源範頼の居館跡と伝わります。範頼が亡くなった後はその子孫が居住して吉見氏を名乗ったと言われており、お寺の周囲に残る堀は、範頼の館の一部と伝えられています。戦国時代末から江戸時代には末寺が１２０を数える大寺院であったことが知られています。

問合せ　吉見町　比企市町村推進協議会に関すること　産業振興課商工観光係　☎0493-54-5027
文化財に関すること　生涯学習課文化財係　☎0493-54-9111

3月は鎌倉時代に多くの武士団が行き来した笛吹峠のある鳩山町です。